

# あゆみ

## 『法人職員としての自覚』

理事長 森 公夫

かつては社会福祉法人独占だった福祉事業の多  
くが、民間力活用推進という国の方針によって様々  
な設置主体の参画するところになりました。これは、  
こころざしがあっても資力の乏しいNPO法人等



にとつて、その社会貢献を実現するための大きな改  
革になった一方、あまりにも多様な業種が参入した  
ことによる問題も起こるようになりました。事業の  
質もさることながら、一般企業には倒産や収支の悪  
化による事業からの撤退など利用者に迷惑をかけ  
る事もあり得ます。社会福祉法人にそれが皆無とは  
いえませんが、そもそも法人の設立目的が福祉への  
貢献であるということから、事業に対するスタンス  
はおのずから違っていると思います。

ただ、長期にわたって事業を独占していたことか  
ら、法人にも職員にもまだ旧態依然とした閉鎖性  
が残っていることは否めません。またそれが事業を  
最初から「サービス」と捉えて取り組み、経営スキ  
ルに長けた事業者との差になっていることも実感  
します。社会福祉法人が保護されていた時代は終わ  
りました。昨年実施された社会福祉法人改革もその  
一歩で、今後も税制や各種の特例措置も順次廃止さ  
れていくであろうと考えると決して安穩としてい  
られる状況ではありません。

しかし、あゆみ学園には、創設期からの社会奉仕・  
隣人愛というゆるぎない理念があります。またやが  
て60年になろうとする歴史と、そのなかで培われた  
地域や行政との信頼関係、利用者の方々や事業を支  
援して下さった人々との強い絆があります。これ

は他と比べてとても大きな財産です。12年前に開所  
した通所授産施設あゆみ作業所（現・多機能事業所  
あゆみ）も、今年3月に開園した企業主導型あゆみ  
保育園も、その施設整備や事業開始にはそうした  
方々の大きな支えがあったことを忘れてはなりま  
せん。

つまりこの法人には、先人の残してくれた埋蔵金  
のようなものがあって、それが新規の事業展開を支  
えてくれたということです。しかし、石油に限らず  
資源には限りがあり使えば確実にその量は減少し  
ていきます。ただ化石燃料と違つところは、私たち  
は日々の仕事を通して、新しい資源やエネルギーを  
作り出すことが可能だということです。

大変なことではありますが、「この施設へ来てよ  
かった」「あゆみ学園と出会えてよかった」という人  
が増えていくなら、それは新たな力になるはずで  
私たちは人と社会への奉仕をしながら、同時に次代  
への種まきも行っていかなければなりません。

「情けは人のためならず」と言う言葉があるよう  
に、与えられた仕事に誠心誠意取り組むことは、や  
がて廻りめぐって自分を支えてくれる大きな力に  
なります。私は、あゆみ学園のすべての職員が、そ  
ういう自覚を持って仕事に取り組んでくれること  
を願います。

### 社会福祉法人あゆみ学園

#### 理念

当法人は、障がいのある子どもとその保護者を支援するため、日本基督教（キリスト）教団松山教会の青年によって始められた事業をその礎（いしずえ）とし、キリスト教の愛の精神に基づいた社会福祉事業を行い地域社会に貢献します。

### 『多機能保育事業所あゆみ献堂式辞』

松山教会

牧師 上島 一高

わたしは、関係者の献身によって2018年2月末に完成し、働きが始まっていた建物の献堂式（10月12日）で、次の様に式辞を述べた。

わたしたちは今、「神さまの御旨」になった働きのために用いられる建物、内容を盛る器が与えられたことを改めて感謝しております。

ここで、この建物の設計・監理・建設に当たって下さった方が、関係者同様、まさに「自身の専門的な力とまた誠意を、この建物づくりの業に注

ぎ、献げてくださったことを感謝します。

この、今は新しい建物も、やがては古くなって行きます。それでも、そこに働く人々が、幼子の為、また、背後のご家庭のために心を注いでいれば、新築の時よりもさらに輝くことでしょう。

そういう意味で、この「献堂式」は、見かけの新しさを祝う式ではなく、また、それがわが手に入ったことを喜び式でもなく、幼児教育本来の働きへと建物を手渡し、献げる式なのです。

あゆみ学園の理事長で、当施設長である森公夫さんは、「これらは神さまから与えられた賜物です」と言われます。賜物としての幼子を大人の勝手には出来ないように、この新しい賜物も「隣人（幼子やご家庭）のお役に立つために」用いられるのです。



ここで、その徴として聖書を贈呈いたします。これは、キリスト教会で定礎式の際に、建物の基礎に聖書を埋めること



で、人間の思いではなく神の言葉を土台とした建物であることを示すことに換えるものです。

贈呈の前に、聖書を一か所読ませていただきます。詩編119編105節。

あなたのみことばは、わたしの道の光  
わたしの歩みを照らす灯。

式後、ある職員が話しかけられた。「この聖書には『ひかり』と『あゆみ』が入っていますね。」



『田を凝らして』

あゆみ学園

管理者

武智 一郎

ついこの間のことです。園庭で先生に連れられたK君が何かを見上げてニコニコ笑っています。どうしたのと声を掛けると、先生が、

「櫛の枝に残っている葉が風に揺れると笑うんです。」と教えてくれました。私は

「だったら冬になって全部散る前に、何かパウチして吊るさないとけないね。」と言って笑いながら、何か小説で読んだことのある展開に似てるかななどと考えていました。きつと彼には何かが見えていて、それがとってもおもしろかったのでしょうか。私に見えなかっただけで。

今日は送迎車から降りてくるT君の瞳が、何だか輝いています。目線は私の右側を通過して、後ろの方



に向っていきます。振り返ってみたのですが、そこにはもう1台のバスが止まっているだけ。でも普段とはちょっと違うT君の眼は、私に見えない何かを捉えていたのでは

う。

彼らは若いから、何かを目ざとく捉えるのでしょうか。私の眼は古びてきて、少しセンサーが鈍くなっているのでしょうか。それとも彼らの純粹な感性は、私がどうでもよいと思っているようなことに、新鮮な何かを見出すのでしょうか。

この子供たちは大人が思っているよりもはるかにたくさんのお事を捉えて、感じ、何かを考えているに違いありません。こちらが気付いていないだけで。だから、毎日今以上に真剣に子どもに合わせ目を凝らしてみれば、私たちも彼らの心をしっかりと感じられるのだろうと思います。私ももっと頑張らねば……。

『アットホームなあゆみ』  
多機能型事業所あゆみ

管理者

喜安 勝也

4月より、真鍋前施設長の後を受け、当事業所を引き継ぎました。今までと同様、利用者さんに寄り添いながら、支援員とともに、楽しく居心地のよい、誰もが行きたくなるような施設運営に努めていきたいと思っておりますので、どうかよろしく願います。

これまで、生活介護及び就労継続支援B型の利用者さんと関わる中で、私が強く感じたものは、アットホームな「あゆみ」の絆でした。

利用者さんを真ん中にして、あゆみの全員が家族のような雰囲気です。接しながら、一人一人が

家族の一員としての役割を担っているように思いました。私は差し詰め祖父役でしょうか。

家族は、誰が欠けても成り立ちません。それぞれが、かけがえのない価値ある存在です。

時に、誰かが体調不良や情緒不安等になってもお互いが助け合い支え合いながら、カバーします。

先日の運動会では、3チームに分かれて、全員が協力しながら楽しく競技したのですが、なんと3チームの得点結果が同点になりました。

「All for one, One for all...みんなは一人のために、一人はみんなのために」の姿を随所に垣間見ることができ、とても微笑ましい気持ちになりました。

これからも、利用者さん、家族会や地域の皆様とともに、あゆみの強みであるアットホームな施設として、「和をもって尊しとなす」の言葉のように全員が一体となって、さらに成長・前進していきたいと思っております。



『ゆりかごから墓場まで』  
多機能型事業所あゆみ

管理者補佐 渡部 剛

あゆみ学園の理念として「キリスト教の愛の精神に基づいた社会福祉事業を行い地域社会に貢献します」と謳われ、「公益事業として」「社会の福祉ニーズを受け止め」「愛と奉仕の心をもって支援に努めること」が基本方針とされています。あゆみ学園の誕生と発展の支柱となったこれらの信条は、私達に「ゆりかごから墓場まで」というスローガンを思い起こさせます。

若い人には馴染みが薄いかもかもしれませんが、戦後の英国の福祉政策の指針として生まれ、そして各国の社会保障制度の土台となり、今日の世界の福祉国家化をリードしてきました。

なぜそれが英国で生まれたのか、そこには英国の歴史、特に宗教的事情が深く関係していると思えます。



「この国でもそうですが、昔の王様は戦争に忙しく、国庫はいつも空っぽで、どうやって税を集めるか知恵を絞っていた。ある時、教会が集めている十分の一税に目を付けた王がいた。全国から集まる多額の資金が

ローマに上納されていたのである。それを手中にするため、自分が教会の最高権威者であるという首長令なるものを出し、それを正当化するためローマ教会とは別の英国教会を組織するのである。

勝手に戦争に熱中する王様のもと、苦しむ人民の生活を助けていたのは教会であった。孤児、寡婦、老人、貧窮者が何とか生き永らえていたのは教会の御蔭であった。社会福祉は国ではなく教会によって保たれていたのである。それが失われた後は、社会福祉は首長である王様自身がやらねばならなくなって、現代は福祉国家が当り前となり、社会保障なくして国家無しの観があります。実際、今は福祉関係費が最大の予算を占めています。

しかし、教会が福祉に尽力してきたのは権力に強制されたり、法律で義務付けられたわけではない。全くの隣人愛の発露であり、信仰の証が形になってきたのである。また、四天王寺の悲田院のように仏教施設にも同様のものがあり、イスラムやヒンズーにも喜捨の法があって、未熟な福祉を肩代わりしたり、補強してきた。

今日の社会保障制度の下でも、まだ満たされていない「ゆりかごや墓場」があるのだろうか。或いは、行政の下請け的業務で満足して良いのだろうか等、この理念が問いかけ、訴えかけてくることは多いのです。

『ボルダリングがやってきた！』  
児童発達支援センターあゆみ学園

児童発達支援管理責任者 今村 高博



平成30年9月23日、遂に！あゆみ学園にも『ボルダリング』がやってきました！

早速、クラス活動やグループ活動で活用しており、子どもたちも新しい遊具？に興味津々で楽しく遊んでおります。

既にあゆみ学園に設置されているのを見た方もいらっしゃるでしょうし、最近各地の児童館等でも見かけることが多くなったので、ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、ここで少し『ボルダリング』の説明をしたいと思います。

『ボルダリング』とは、フリークライミングなど一種で、最低限の道具（シューズとチョーク）で岩や石、人口の壁面等を登るスポーツです。

もともとは自然の中にある巨石を登る遊びとしてスタートし、1980年代後半から人口の壁を登るクライミングジムが出来始めたそうです。

そして2020年の東京オリンピックでは、スポーツクライミングの中の1種目として、ボルダリングが行われることになったそうです。

ボルダリングの効果として、体力・筋力アップは勿論、理解力・適応力・思考力などが期待できるようです。あゆみ学園で実際に行っている子どもたちの姿を見ても、「どこに指（足）をかけて、次はどこにあるから…」こうしたけど、やっぱりこっちはの方が…」



という風に、言葉にこそ出さなくても色々な考えながら登っている様子が伺えます。今後も積極的に活動に取り入れていきたいと思っています。

### 『新任職員コメント』

児童発達支援センターあゆみ学園

保育士 御木 遥

あゆみ学園に来て、半年が経ちました。毎日が勉強の日々で職員から学ぶだけではなく、子ども達からもたくさんのお話を学ばせてもらっています。

実は、私は2年前の今ごろあゆみ学園で実習生として2週間お世話になりました。その時は各クラスに1日ずつ、残りはひよこクラスで過ごし、数カ月後には、ボランティアとして何度か来ていました。そのたった数カ月間で成長した子どもの姿に感動したことをよく覚えています。

実習の時に年少だった子が、現在年長さんとしてあゆみを引っ張っている姿を見ることができたこと、そして実習で関わった子ども達の担任をさせていただいていること、とても嬉しく思っています。ひよこクラスでも大人しかった子が今はクラスのアドメーターになっていたり、歩くことが不安定だった子が1人で走ることができるようになっていたりそれぞれ成長しており、子どもの成長の速さを改めて感じています。子ども達の毎日少しずつ成長する姿を見て、私も一緒に成長していかな

ければならないと思っています。これから子どもたちに負けないくらい元気に過ごし、一日一日を大切にしたいと思います。よろしく願っています。

### 『歩く』

児童発達支援事業センター

児童発達支援管理責任者 黒川 真紀

毎年、この学園報の時期になると「今年もあと少し…早いなあ」と思います。

この数年、お正月の2日には家族揃って自宅から歩いて松山城に登り、そのまま護国神社まで行き初詣。そして、夜に帰宅するまでがお正月の家族行事になっています。我が家の子も達も小さかった頃は、誰かが途中でリタイヤしていましたが今では全員が歩けるようになりました。

あゆみ学園でも時々子ども達と散歩に行くことがあります。途中で座り込んだり、「抱っこ」と手を伸ばしたりする子どももいます。でも、年少の時はずいぶん歩けなかった子どももだんだんと体力がついたり、目的がわかったりして年長になるとしっかりと歩けるようになる子どももいます。

さて、私もよく保護者の方に「ぜひ、親子で散歩をして下さい」とお願いしますが、散歩の良い点を改めて伝えたいと思います。

歩くことで、足の指を使って、足裏や太ももの筋肉を収縮させることになり、

また、足指の力や機能を高めたり、バランス・踏ん張る力がついて姿勢が良くなります。そして、歩くことは『自我』の表現であり、目標を持って生き生きと歩き達成感や爽快感を味わうことができます。

さあ、親子で手をつないで歩き、散歩を楽しんでください!!



### 『ライフステージ』

あゆみ学園指定相談支援事業所

相談支援専門員 梶原 佳代

つい最近素敵な桜を眺め、新たな年度がスタートしたと思っていたのに、今年度も4分の3が終了しました。月日が経つのはホント早いですね。今年度、皆さんにとって、どのような年でしたか？

私事ですが、長男が小学生になりました。次男は保育園の年少さんになりました。今までは2人同じ保育園に通っていたので、送り迎えが1か所でしたが、朝は登校班集合場所まで長男と一緒に歩いて行き、その後次男を保育園へ送って行き、出勤。退社後は、長男を児童クラブへ迎えに行き、その後次男を保育園に迎えに行き、帰宅。私自身の仕事や勤務時間は全く変わらないのに、子どもの通う場所が変わることで、私の生活リズムも変化しました。

相談支援専門員として、下は3歳、上は67歳の方のサービス等利用計画を作成させていただいています。作成する中で、本人さんやご家族さんからお話を聞かせてもらうことが多くあります。本人さんから現状や悩み、将来の夢を聞かせてもらうと同時に、本人さんの一番近くでサポートして下さっているご家族さんの変化もとても重要だと、感じています。本人さんの状況は変わらないのに、ご家族さんの状況が変わることで、多少なりとも本人さんの生活にも変化がうまれます。その時その時のライフステージにあった想いをきちんと受け止め、そして本人さんの夢に近付けるよう一緒に考えることのできる相談支援専門員でありたいなと思います。

今年度も残り4分の1。月日が経つのは早いですが、気付いたら3月！とならないよう、日々皆さんから、いろいろなパワーをもらいながら、充実した日々を過ごせたらと思っています。3月までの私の目標は、年々増え続けている体重・・・。「3月までに2キロ痩せるー!私を見かけたら、「痩せよる?」と喝を入れてください。そして、皆さんの3月までの目標も教えてくださいね☆一緒に目標に向かって歩んでいきましょう。

『 家族のような保育園  
企業主導型 あゆみ保育園 』

保育士 水本 ちひろ

二年前に始まった小規模保育事業所ひかりの新築移転と同時に、新しく企業主導型のあゆみ保育園が誕生しました。制度は違っていますが同じ建物の中で一緒に過ごしているのだから、家族のようには仲良くす



ごしています。一緒に近所の散歩にでかけることもあり、大きい人は、はりきって小さい人のお世話をしてくれます。コースは近くの神社や園の周辺で、日々変わる風景を感じることが出来ます。

大きい人は小さい人たちに、咲いている草花の名前や危ない場所を教え、先生役もしてくれます。まだ始まったばかりの保育園で、職員も子どもも日々が学びの場です。いつもみんなの笑顔と笑い声の絶えない場所となるよう、頑張っていきたいと思えます。

『「リテイィくんよ!! 改元前に思ふ事」  
多機能型事業所あゆみ 生活介護事業』

生活支援員 筒井 英規

今年の夏は格別暑かった。平成最後の夏を惜しむかのよう。この理屈で行けばこの冬もこれまた最後のご奉公とばかりにキッチリ冷やしてくれそうである。青天井になったカソリン価格にささやかな抵抗をするためのバイク通勤に、余り寒くならないことを祈るばかりです。

手が冷えると言えばあゆみに勤務し始めた頃、手をつなぐことに最初は違和感があった。不肖筒井手をつなぐのは細くて小さめの手と決めていた。と言うより自分より大きな手とか毛深い手とつなぐなんぞ考えてもみなかった。

自分が手をつないだ記憶があるのは幼少の頃を除くと、小中学校時代運動会でフォークソングを踊った際女子と映画ET状態っぽい手つなぎ、高校は野郎ばかりの男子校で普通ある方がオカシイ。大学以後就職してからはそれなりに一応両手で足りるぐらいの手つなぎがあった程度、いわば手つなぎ初心者。大きな手に逃げ腰だったのはちょっとの間、カメレオンかオクトパスかと言われる程の、我が適応能力をもってすれば3日目には手をつないで唄っていた。大きな手や小さな手とつなぐ度に思っている。この手はなんて温かいのだろう。今まで家族・先生方・お友達と数えきれないぐらいの手とつながつてきたから、その温かさが貯金されているのでしょうか。それは自分が歳を重ねて血の巡りが悪くなり手が冷たいだけヤロ、と言う輩は我が家の愛犬



月ちゃんにガブッとやられるであろう。

一人でごはんを食べることもないでしょう。全員がそうではないかもしれませんが、誰かと食べるご飯はやっぱり美味しいことでしょう。今晚のごはんを楽しみにして、自分の誕生日を指折り数え、家族の誕生日・お祭り・クリスマス・お正月とカレンダーをめくれば、毎月赤丸がついてそれが嬉しくてニッコリ。きのうのツマラヌことなど忘れ、きょうを精一杯生き、明日はあしたの風が吹く。日一日近づいて来る赤丸に一喜一憂。そんな生き方を私は手本にしたい。できることなら、自分一人が大きな悩みを抱えていると思ひ込み明日が見えない人達に、お尻が半分コンニチワしていても「コレデイイ〜んよ!!」の生き方があることを、手を繋いでそして感じてもらいたい。そんな風に思う62歳晩秋の候です。



『 就労継続支援B型 活動報告 』

多機能型事業所あゆみ 就労継続支援B型事業

職業指導員 永井 壮

就労継続支援B型事業では、現在15名の利用者が主役となり、シャムの製造・販売、農作業、施設外作業(主に一般家庭の庭の草刈りや簡単な樹木の剪定等)、そして軽作業受託(アメニティセットの袋詰め等)の4つの作業を行い、今後の就労や工賃向上を目標に、利用者、職員共に一丸とな

り日々奮闘しています。そして、この4つの作業の中で、ここ数年の間に目覚ましく成長してきたのが農作業です。まず、平成25年度11月に近隣の方から約一反半程の耕作地を新たにお借りし、野菜の栽培量を増やすことができました。それに伴い平成27年度6月には年賀寄付助成金を受けてトラクターを購入し、農作業の効率が大幅に上がりました。平成28年度7月には毎の収量増加を目的とし、ハウスに電照設備を増設しました。更に昨年度は、お隣の『元・橋本鉄筋様』の土地を購入し、ビニールハウス二棟の増築も計画しています。これも地域の方々と、関係者の皆様に支えられてのことと、利用者・職員一同、日々感謝しています。これからも頑張っていきますのでよろしくお願ひします。

就労継続支援の面では、今年また一人の利用者がステップアップを目指し、『愛媛県立松山高専技術専門学校』や、その関連施設の『タムラリネンサプライ』の見学に参加しました。目標は就職し、自立した生活を送ることです。社会に出ると今まで以上に辛いことや、悩むこともあると思います。しかしそれ以上に、自由や楽しいことが待っているのです。周囲の方への感謝の気持ちを忘れず、前向きに頑張っ

てほしいと願ひます。  
最後になりますが、これからも利用者の皆様の支援をさせて頂けることの喜びを噛みしめながら、より一層励んでいきますのでよろしくお願ひします。





**あゆみ学園**  
**父母の会 役員紹介**

2度目の会長をさせて頂いています。とんぐりからお世話になり、気付けば六年目で先生方には感謝の毎日です。恩返し気持ちも込めて悔いのないように務めさせて頂いていただきますので宜しくお願い致します。

薦田 絢

佐伯 恭子

今年度、副会長を務めさせて頂いております。役員の任期も残りわずかになりました。皆様のご協力を頂きながら、役員一同最後まで頑張ります。

川口 由香

今年度、副会長を務めさせて頂いております。保護者の方々が安心して、子供達が園での生活を楽しく送れますように、最後まで見守り、お手伝いさせて頂きたいと思っております。宜しくお願い致します。

上甲 美保

今年度、監査を務めさせて頂いております。子供達がより良い生活を送れるよう、お手伝いができたらと思っております。宜しくお願い致します。

水上 瞳

今年度、補佐を務めさせて頂いております。子供達が楽しく園生活を過ごせる様、精一杯努めさせて頂きます。よろしくお願い致します。

小西 沙織

今子供がお世話になっており、その恩返しができねばと思ひ役員をさせて頂いております。よろしくおねがいします。

大木 知佳

今年度、書記をさせて頂いております。子供たちが楽しい園生活を送れる様お手伝いが出来たらと思ひます。宜しくお願い致します。

**多機能型事業所あゆみ**  
**家族会 役員紹介**

角田 三記子

今年度、会長をさせて頂いております。皆様とのつながりに感謝して、精一杯頑張りたいと思ひます。よろしくお願い致します。

川崎 佳子

こどもたちのために心をこめて活動させて頂きたいと思ひております。とんぐりよろしくおねがい致します。

藤崎 貞親

今年一年、役員として作業所にお手伝いが出来ればと思ひます。宜しくお願い致します。

江戸 美千代

役員をさせて頂いたとき、事業所や保護者の皆様とのつながりの大切さを知る事が出来ました。今年度もよろしくおねがいいたします。

橘 順子

利用者の皆さんがより楽しく行事ができるよう微力ながらお手伝いしたいと思っております。どうぞ、よろしくお願い致します。

**新任職員** (平成30年4月現在)

保育士 御木 遥・会田 実夢

**お知らせ**

- ・平成29年度の苦情受付に関して受付件数0件。処理件数0件でした。
- ・例年添付してありました決算書類は、ホームページに掲載しております。

〒790-0047 松山市余戸南6丁目6番9号  
**社会福祉法人あゆみ学園**  
 児童発達支援センターあゆみ学園  
 児童発達支援事業どんぐり  
 相談支援事業所くじら  
 ayumi-g@bz01.plala.or.jp  
 HP Tel 089-972-0999 Fax 089-972-3511

---

〒790-0047 松山市余戸南6丁目3番26号  
**多機能型事業所あゆみ**  
 生活介護事業所あゆみ  
 就労継続支援B型事業所あゆみ  
**あゆみ学園指定相談支援事業所**  
 ayumi-s@ksn.biglobe.ne.jp  
 Tel 089-974-5141 Fax 089-907-6100

---

〒790-0912 松山市畑寺町843番地1号  
**多機能保育事業所あゆみ**  
 小規模保育事業所ひかり  
**企業主導型保育事業所あゆみ保育園**  
 Tel 089-948-4402 Fax 089-977-4412